

2008 年

軽防協ニュース速報 NO. 2

2008年第2四半期(4月－6月)の伝染病発生状況

(International Collating Center からの情報)

2008年9月17日配信

アルゼンチン

馬ヘルペスウイルス感染症

EHV-1 の流産型

60 頭から 300 頭の妊娠牝馬を繋養している大型の生産牧場 3 ヶ所において、散発的な EHV-1 による流産の発生が 4 月、5 月および 6 月に報告された。流産を起こした馬はすべてワクチンが接種されていた。

オーストラリア

報告未着。

カナダ

報告事項なし。

デンマーク

腺疫

6 月に、1 厩舎で 2 頭の腺疫の発生が報告された。当該馬はフランスから陸路で搬送され、デンマーク到着時に臨床症状が認められた。輸送業者は、当該馬が一時的に立ち寄った全ての厩舎に情報提供するよう求められた。現時点において、デンマーク国内の他の地域で腺疫の発生は認められていない。診断は、デンマークの Labovet 研究所において分離・同定することによってなされた。

フランス

馬ヘルペスウイルス感染症

EHV-1 の呼吸器型

4月23日に報告されたサドルホースの1症例は、F. Ducombe 研究所における血清学的検査により EHV-1 感染と診断された。この馬のワクチン接種歴は不明であり、発咳、鼻漏と発熱が主な症状であった。

馬インフルエンザ

4月から6月の間に、サラブレッド種およびスタンダードブレッド種が飼養されている5施設において7件の発生が報告された。その中の1施設において、感染率が80%に達していた。診断は F. Ducombe 研究所において、鼻腔スワブを用いた急速エライザ検査および PCR 検査によって実施された。感染馬には、発咳、発熱および鼻漏などの臨床症状が認められた。

腺疫

4施設で腺疫が発生し、合計6頭の馬（非サラブレッド種）の感染が確認された。診断は F. Ducombe 研究所において、鼻腔スワブの PCR 検査によってなされた。感染馬には、咳、鼻漏、リンパ節の腫大、嚥下障害、食欲不振および発熱などの臨床症状が認められた。

馬ウイルス性動脈炎（EVA）

1施設で馬ウイルス性動脈炎の発生があり、3頭の非サラブレッド種の感染が確認された。診断は F. Ducombe 研究所において、精液および血清の PCR 検査によってなされた。感染馬では、発熱および鼻漏などの臨床症状が認められた。

馬伝染性子宮炎（CEM）

非サラブレッド種1頭の CEM 感染が確認された。診断は F. Ducombe 研究所において、細菌分離によってなされた。

馬ピロプラズマ病

ピロプラズマ病は、フランスでは風土病として存在している。

ドイツ

馬伝染性貧血（EIA）

2008年5月18日の監督官庁の報告によると、Weimarer Land 行政地区（Thuringia 州、ドイツ東部）の1施設で飼養されている1頭が EIA と診断された。この感染馬は通常実施されている血液検査で摘発されたもので、臨床症状は認められなかった。感染馬と接触のあった馬に対する調査および疫学調査が直ちに行われた。

当該馬は、Greifswald にあるドイツのリファレンスラボラトリーである Friedrich – Loeffler 研究所において公式に EIA と診断され、2008年5月22日に安楽死処分された。これら EIA 感染馬と接触した恐れのある馬が繋養されている6施設は、すべて Weimarer

Land 行政地区内にあり、直ちに隔離措置が講じられた。また、接触した 45 頭の馬に対して血清学的検査が強制的に実施され、感染拡大の可能性について調査された。現在のところ、試験結果はすべて EIA 陰性であり、最終の検査結果を待っている段階である。

香港

報告事項なし。

アイルランド共和国

腺疫

アイルランド全土において、合計 17 ヶ所で流行があり、29 頭が腺疫と診断された。

サルモネラ感染症

3 症例が確認された。

馬ウイルス性動脈炎

馬ウイルス性動脈炎の抗体検査は 4,504 検体について実施された。その結果、陽転したものはなかった。

馬ヘルペスウイルス感染症

EHV-1 の流産型

EHV-1 による流産が、13 症例あった。

EHV-4 の流産型

EHV-4 による流産は、2 症例あった。

馬伝染性貧血

この四半期の間に合計で 4,454 検体について EIA 検査が行われ、すべて陰性と診断された。

馬インフルエンザ【ICC. INTERIM REPORT - May 2008 より】

公立の種馬場において、馬インフルエンザの発生が確認された。4 月 17 日に、鼻腔スワブからウイルスが分離された。今までのところ、PCR 検査により 7 頭の陽性が確認されている。ウイルスの性状解析が行われており、血清学およびウイルス学的調査も継続中である。感染馬には雑多なワクチン接種歴があった。抗体陰性馬の症状は重度であった。

馬インフルエンザ【ICC. INTERIM REPORT - May No.2 2008 より】

アイルランドの馬センター (Equine Centre) において、今回分離されたウイルスが解析された。アイルランドの一地域で分離されたウイルスの血球凝集遺伝子の塩基配列が決定された。分離ウイルスの遺伝子は 2007 年にアイルランドで分離されたウイルスの遺伝子と類似していた。分離ウイルスは A/eq/Wisconsin/03 のようなフロリダ亜系統の 1 系等群よりも、むしろ A/eq/Newmarket/03 と類似したフロリダ亜系統の 2 系統群

に属していた。

(最初の INTERIM REPORT- May 2008 において、鼻腔スワブからウイルスが分離された日付を 4 月 17 日と記載したが、実際は 4 月 21 日であった。関係者を困惑させてしまい、この場を借りてお詫びする)

イタリア

報告事項なし。

日本

馬ヘルペスウイルス感染症

EHV-1 の流産型

限局した流行が報告された。それは、2008 年 4 月 16 日に始まっており、2 施設において 2 頭のサラブレッド種繁殖牝馬が流産を起こした。診断は北海道日高家畜保健衛生所においてウイルス分離によってなされた。両馬ともワクチンが接種されていた。

馬インフルエンザ

2007 年 8 月に起きた馬インフルエンザの最初の流行後、その発生はかなり減少しているが、依然として競走馬と乗用馬に散発的な症例が報告されている。

前回の報告以降として、国内ではあらたに 9 都道府県において 217 頭の陽性馬が確認されており、6 月 30 日現在、これまでの陽性総数は、33 都道府県において 2,462 頭となった。これら陽性馬は、馬インフルエンザ監視のための検査により摘発された不顕性感染馬も含まれている。それらすべての陽性例は鼻粘膜スワブを用いた A 型インフルエンザウイルス検出キット、または JRA 競走馬総合研究所栃木支所あるいは家畜保健衛生所において実施された RT-PCR 検査によって診断された。

2008 年 4 月以降の JRA 施設内における馬インフルエンザ陽性馬は 2 頭の競走馬で、それは 4 月に摘発された美浦トレーニング・センター（茨城県）の 1 頭と、5 月に摘発された栗東トレーニング・センター（滋賀県）の 1 頭であった。5 月 23 日以後発生は確認されていない。これら 2 施設の感染馬からウイルスが分離されているが、HA1 遺伝子の塩基配列解析の結果、いずれも昨夏に分離された Ibaraki/1/07 と相同であった。

日本から馬インフルエンザを排除するために、本病に対する適切な防疫措置と監視のための検査が継続されている。

ニュージーランド

報告事項なし。

シンガポール

報告事項なし。

南アフリカ

報告未着。

スペイン

報告未着。

スウェーデン

報告未着。

スイス

馬伝染性子宮炎（CEM）

2施設において非サラブレッド種4頭のCEM感染が、細菌分離によって診断された。2007年5月にハンガリーから輸入されたリピツア系統の種牡馬は、種付け許可を得るための検査を受けなければならなかった。その馬の輸入時の書類には、CEMに汚染された種馬飼育場にいなかったこと、および輸出前60日間にいかなる病馬とも接触が無かったことが記載されていた。陽性結果が得られた検体材料は、陰茎体のスワブではなく、尿道および亀頭窩のスワブであった。また、この厩舎では厩舎作業をする時に馬を馬房から馬房へと移していたために、この厩舎で飼育されていた他の牡馬についても検査が実施された。検査の対象となったのは、3歳の牡馬1頭および騾馬2頭であり、騾馬のうち1頭は2ヶ月前に去勢された馬であった。その結果、牡馬1頭および最近去勢された騾馬1頭が陽性となった。これらの馬もまた、同じパドックや隣接しているパドックで隣の厩舎のスペイン純血種の馬と接触があった。接触した馬は9歳の種牡馬が1頭と10歳および5歳の牡馬がそれぞれ1頭の合計3頭であり、検査の結果、5歳の牡馬1頭も陽性となった。すべての陽性馬は治療され、その後実施された検査で陰性となった。

牧草病 (Grass sickness)

4月から6月の間に、2地域において、頭数は明らかではないが非サラブレッド種が牧草病にかかった。診断は、典型的な臨床症状に基づいてなされた。

ロドコッカス・エクイ感染症

2008年5月から6月の間に、頭数は不明であるが非サラブレッド種がロドコッカス・エクイ感染症にかかった。この限局した流行は、細菌分離と臨床症状により確認された。

腺疫

4月から6月の間に、5施設で頭数不明の非サラブレッド種の馬が *Streptococcus equi* 感染に見られる症状を呈した。診断は、細菌分離と臨床診断によりなされた。

トルコ

馬ピロプラズマ病

1施設において緩慢な馬ピロプラズマ病の流行が起こり、19頭の非サラブレッド種繁殖馬が馬ピロプラズマ病にかかった。診断は、原虫の分離によりなされた。

アラブ首長国連邦

馬ピロプラズマ病

アラブ首長国連邦では、バベシアカバリおよびタイレリアエクイは風土病であり、定期的に症例が報告されている。非サラブレッド種で発生が認められた。診断は、ドバイにある Central Ventral Research Laboratory において、血清学的検査および原虫の分離によってなされた。

イギリス

馬ヘルペスウイルス

EHV-1の流産型

この四半期に、EHV-1による3例の流産が、胎盤および胎児の組織を用いたPCR検査により診断された。それぞれは、異なった施設における症例であった。

EHV-1の神経型

スコットランドから来たワクチン未接種の1頭の乗馬が運動失調を呈した。検査の結果、当該馬はEHV-1に感染したことが確認された。同馬のEHV-1に対する抗体価は高く、抗体価の上昇も認められた。一方、鼻腔スワブおよび全血からウイルスは分離されなかった。同施設における2症例目は軽い症状を呈していたが、診断に利用できる検査検体は得られなかった。感染馬と接触した馬について血清学的検査を実施したところ、1回目の検査はすべて陰性で、引き続き実施された検査においても抗体の陽転は認めら

れなかった。

EHV-4 の呼吸器型

呼吸器症状を呈したワクチン未接種の馬 2 頭の鼻腔スワブから EHV-4 が分離された。その他の馬の感染は認めなかった。

EHV-3 感染症（馬瘡疹）

1 頭のサラブレッド種の種牡馬、1 頭のロバおよび 1 頭の品種不明の馬が馬瘡疹の症状を呈した。すべての症例はペア血清における抗体の陽転によって、馬瘡疹と診断された。この施設全域の汚染状況を調べるための抗体測定が、そのために適当と考えられる場所に飼育されていた馬を選抜して実施されたが、更なる症例は報告されなかった。

馬インフルエンザ

この四半期に、3 回の馬インフルエンザの流行がスコットランドで見られた。グラスゴーの南に位置している 40 頭の馬を繋養している委託牧場で、鼻腔スワブを用いた ELISA 試験で 6 症例の陽性が確認された。接触した数頭の馬が臨床症状を示した。バンフシャーにおいて、ウェルシュコブ種（短足で頑丈な馬）の半野生群の中で、2 頭が鼻腔スワブを用いた ELISA 試験で陽性と診断された。なお、この群のほとんどの馬が臨床症状を呈していた。アバディーンシャーの委託牧場では、2 頭が陽性と診断され、これらの馬と接触のあったワクチン未接種馬も臨床症状を呈した。ロクスボローシャーでは、ワクチン未接種の馬 2 症例が陽性と診断された。ロクスボローシャーの 1 委託牧場の 2 頭のワクチン未接種馬がエライザ試験で馬インフルエンザと診断された。レスタシャー、ノーサンバーランド、グロスターシアおよびロジアンで、馬インフルエンザの単発の症例がワクチン未接種の馬に見られた。

アメリカ合衆国

馬ヘルペスウイルス

EHV-1 の流産型

4月に発生した中央ケンタッキー州における3頭のサラブレッド種牝馬の流産症例が、馬ヘルペスウイルス1型によるものであることが、ケンタッキー大学の家畜病診断センターによって診断された。これにより、2008年出産シーズン中のEHV-1による流産の発生総数は13頭となった。中央ケンタッキー州における1957年以降のサラブレッド種牝馬におけるEHV-1による流産の発生頭数は、www.ca.uky.edu/gluck/index.htmで検索できるエクワイン・ディージェズ・クォーターリーの2008年7月号に掲載されている。

東部馬脳炎（EEE）

2008年6月24日現在、USDA（米農務省）からの報告によると、馬における東部馬脳炎（EEE）の発生例は合計46症例であり、それらはフロリダ州の37件とジョージア州の9件であった。（<http://www.aphis.usda.gov/vs/nahss/equine/>）を参照。

ウエストナイルウイルス感染症 (WNV)

2008年6月24日現在、USDA（米農務省）からの報告によると、馬におけるウエストナイルウイルス感染症（WNV）の発生例は合計6症例であり、アラバマ州、アリゾナ州、フロリダ州、ノースダコタ州でそれぞれ1例とプエルトリコ州で2例であった。